

# 化学生物総合管理学会 2008年 春季討論集会

この春季討論会はテーマを設定し、関連事項について発表することに止まらず議論を深めることをねらいとしています。今年は3つのテーマに分けて行います。

各テーマとも最初に問題提起を行い、その後会場の皆様を交えて活発な討論を行なう企画です。多数の方々にご参加いただきたくご案内いたします。

日時：3月5日(水) 13:00～17:00 (受付開始 12:30)

会場：学術総合センター 2階中会議室

(東京都千代田区一ツ橋2-1-2) 地下鉄 神保町駅 A8出口徒歩3分  
竹橋駅 1b出口 徒歩4分

プログラム:

**現状を憂え徹底討論!**

テーマA) 麻疹対策を例に新型インフルエンザを考える  
～公益と私権の狭間で～

テーマB) 化学物質総合管理の法体系をどう再構築するか

テーマC) 健康食品利用におけるリスクとベネフィット

(詳細は次ページにあります)

I. 13:00～14:30 全体討論 (各テーマについて代表者がテーマ説明)

II. 15:00～17:00 分科会討論 (テーマ別に分かれて問題提起と討論)

III. 17:30～19:30 意見交換会 (会費制、自由な意見交換)

★参加料: 無料 [事前登録制]

化学生物総合管理学会の会員以外の方も参加登録可能

(但し、会員外の方は資料実費1,000円負担、意見交換会は全員会費制¥3,000)

参加申込み:

①参加者氏名、②所属(勤務先など)

③参加予定セッション(A,B,C)-----会場準備の都合調査ですから変更は随意)

④意見交換会参加有無を明記のうえ、E-mail にて学会事務局にご連絡ください。

E-mail : [cb-jim2@cbims.net](mailto:cb-jim2@cbims.net) 後日、参加証を送ります。

特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

TEL:03-5978-5018 FAX:03-5978-5096

プログラム :

テーマA	麻疹対策を例に新型インフルエンザを考える ～公益と私権のはざままで～
<p>・新興感染症の恐怖が引きも切らないなかで、高病原性鳥インフルエンザのヒトーヒト感染が最近報告された。トリ移動による伝搬に加えて人間の高速広範移動の現状からみると歴史上これまでにない大規模なパンデミックの脅威は計り知れないものがある。このようななかで、未だに流行が起こっている5類感染症である麻疹について今般茨城県が執った対策は県下にその症例が皆無であった点、評価に値するところである。この経験およびそれに基づく知見が上述の脅威に対して意味するところを徹底討論する。</p> <p>(討論進行)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小松泰彦 ((独)製品評価技術基盤機構) &lt;全体討論で討論テーマ趣旨説明者&gt;</li><li>・永田紀子 (茨城県保健福祉部保健予防課健康危機管理対策室)</li><li>・他 (調整中)</li></ul>	

テーマB	化学物質総合管理の法体系をどう再構築するか
<p>・化学物質管理にかかわる日本の法律・制度は極めて分散的かつ時代遅れとなっている。管理適正化の世界の潮流は、化学物質の人および環境に対するハザードを一元的に評価し、リスク管理の全ての視点を包括的に管理する総合管理体制への変革である。化学物質審査規制法や化学物質管理促進法が見直されている状況を踏まえ、法体系の再構築のあり方について全体的な視点から徹底討論する。</p> <p>(討論進行)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・星川欣孝 (お茶の水女子大学) &lt;全体討論で討論テーマ趣旨説明者&gt;</li><li>・大島輝夫 (化学品安全管理研究所)</li><li>・他 (調整中)</li></ul>	

テーマC	健康食品利用におけるリスクとベネフィット
<p>・健康食品の市場は2兆円を越えるといわれている。一方ではその有効性ならびに安全性についての疑問も呈されている。健康食品は毎日の食生活の中でどのように受け止めるべきか。その有効性および安全性をどのように評価すべきか。2兆円の投資に見合った健康上のメリットをどのように捉えるべきか。その問題点と課題について徹底討論する。</p> <p>(討論進行)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・末木一夫 (日本栄養・食品協会(NNFAジャパン)) &lt;全体討論で討論テーマ趣旨説明者&gt;</li><li>・福富文武 (お茶の水女子大学)</li><li>・その他、化学生物総合管理学会 食品リスク研究会メンバー</li></ul>	